山ノ内小学校　学校だより

くすのき

令和８年１０月３０日
京都市立山ノ内小学校
校長　　村山　　雅彦

第1回学校評価号

京都はぐくみ憲章

令和8年度　山ノ内小学校　学校教育目標

「すすんで、ともに楽しく学ぶ」
～自ら学び、律し、協働する～

＜第１回　学校評価　分析と考察＞

山ノ内小学校では**「すすんで、ともに楽しく学ぶ～自ら学び、律し、協働する～」**という学校教育目標を掲げ、日々教育活動を進めています。さらに、授業のユニバーサルデザイン化を研究課題にして、GIGA 端末を積極的に活用したり、ペアやグループ等少人数での話し合い活動を取り入れたりしながら、「主体的・対話的で深い学び」をキーワードにする授業改善に取り組んでいます。

１．児童について

低学年・高学年どちらにおいても、多くの項目で、８０％以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。特に（１）「友達と仲良く、学校生活を送る」（１３）「自分や他人の命を大切にする」（１４）「情報モラルやマナーを守る」で、９０％以上の子どもが「よくできている」か「大体できている」と回答していました。一方で、（１０）「自分の考えや思いを話す」（１１）「すすんでからだを動かす」（１５）「PTA や地域行事へ参加する」は低学年、高学年共に、少し低い数値となっていました。低学年と高学年で差が見られる項目もあります。（５）「すすんで読書に取り組む」（８）「早寝・早起き・朝ごはんを心がける」等は、高学年の方が「よくできている」「大体できている」と答えた児童が少なくなっています。

これらの結果から、本校の子どもたちは、友達と仲良く学校生活を送ることができていると言えます。そして、それに関わる項目の数値も高くなっています。（１３）は友達を大切にする姿勢、（１４）はきまりやルールを守ること等、友達と仲良く学校生活を送るためにとても大切な内容です。毎月１０日の「なかよしの日」の人権学習や道徳の学習を中心に、今後もより友達と仲良く学校生活を送るために大切なことを考えていきます。２・５年生の非行防止教室、６年生の薬物乱用防止教室、全学年を通じた情報モラルやスマホ・携帯の使い方の指導は山ノ内小学校のカリキュラムとして、これからも継続して取り組んでいきます。常に変化する社会情勢に合わせ、指導内容等、外部機関との連携を適切に行っていきたいと考えています。

一方で、低学年、高学年共に、少し低い数値となっていた（１０）「自分の考えや思いを話す」については、低い数値とはいうものの、「よくできている」か「大体できている」と回答している児童が、昨年度学校評価第２回より、低学年で約４％、高学年で約９％増加しています。取り組みの効果の表れとも言えます。（１０）「自分の考えや思いを話す」については、今後も GIGA 端末の活用や少人数での話し合い活動を効果的に取り入れていきます。（１１）「すすんでからだを動かす」については、夏季の熱中症防止のため体を動かせない時間や日も多く仕方がない面もありますが、気候や機会に恵まれている時には、積極的に外遊びをする児童が増えるよう、体を動かす楽しみを感じられる体育科の学習の工夫や委員会活動による体を動かすイベント、学級の外遊びの充実に取り組んでいきます。（１５）「PTA や地域行事へ参加する」については、生活科や総合的な学習の時間、社会科の学習を通して、地域への関心が高まる取り組みを継続していきます。高学年の方が少し低い値となっていた（５）「すすんで読書に取り組む」（８）「早寝・早起き・朝ごはんを心がける」は、学習時間の増加や習い事等によって読書や遊びに出かける時間が減少したり、睡眠時間が減少してきている可能性もあります。生活チェックデーの取り組みや声掛けによって健康的な生活を送る大切さを伝えていきます。また、学校図書館を利用したり、教室で静かに読書をしたりできるよう、学校司書とも連携しながら、読書習慣の定着をさらに図っていきます。

２．教職員について

教職員の回答では、全ての項目で８０％以上が「よくできている」か「大体できている」と回答していました。少し低い数値となっていた（５）「すすんで読書に取り組む」と（６）「すすんで家庭学習に取り組む」については、読書時間の充実や学校司書との連携、より効果的な家庭学習の実施等、教職員間の連携をより一層図って実施していきたいと思います。

３．保護者について

保護者の方の回答は、ほとんどの項目が９０％以上「よくできている」か「大体できている」との回答でした。その中で、（５）「すすんで読書に取り組むように働きかけている」と（１５）「PTA や地域行事へ参加する」の項目が昨年度と同様に低くなっていました。ご家庭でも本に親しむ環境を作ったり、児童と一緒に読書をする時間をとったりして頂けたらと思います。

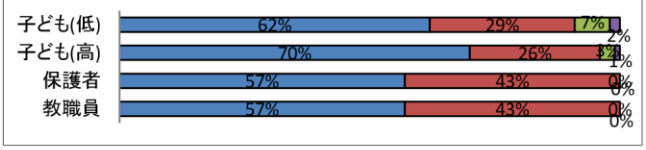
令和８年度　第１回学校評価まとめ

第1回学校評価にご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

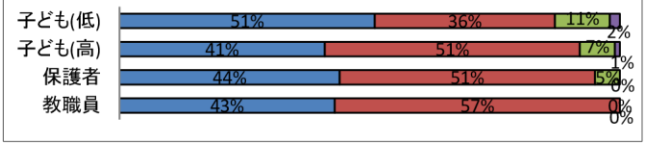
凡例(左から) Aよくできている Bだいたいできている Cあまりできていない Dできていない
アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。
保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

（例）児 童：友だちと仲良く楽しい学校生活を送っている。
保護者：友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるように働きかけている。
教職員：友だちと仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。

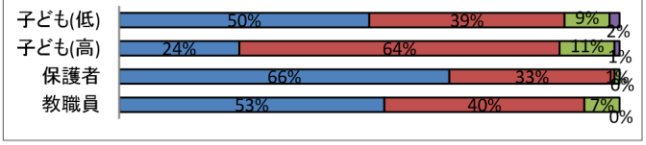
(1)友だちと仲良く，楽しい学校生活を送る



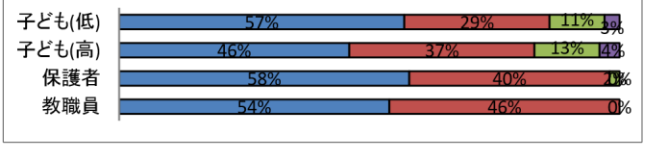
(2)掃除や片づけを最後までする



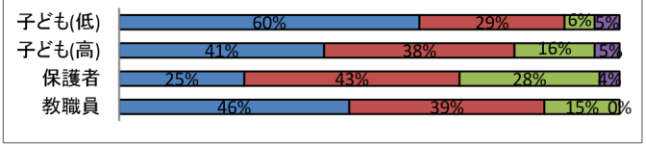
(3)きまりや約束を守る



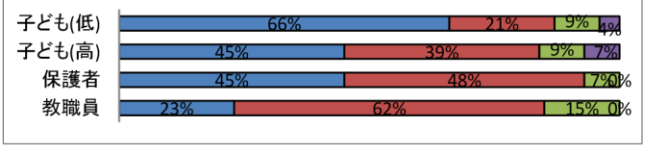
(4)すすんであいさつをする



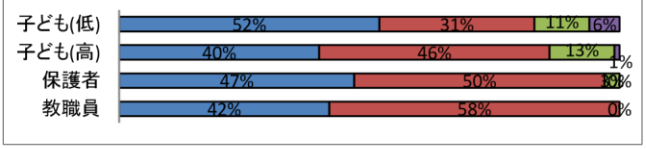
(5)すすんで読書に取り組む



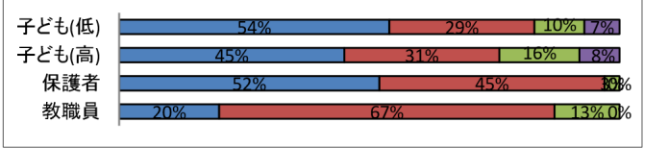
(6)すすんで家庭学習に取り組む



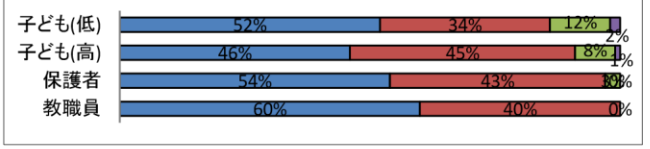
(7)学習の準備を忘れない



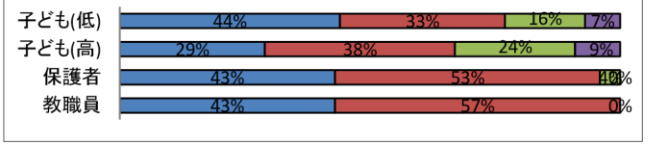
(8)早寝・早起き・朝ごはんを心がける



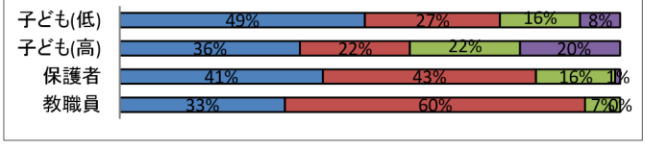
(9)人の話をしっかりと聞く



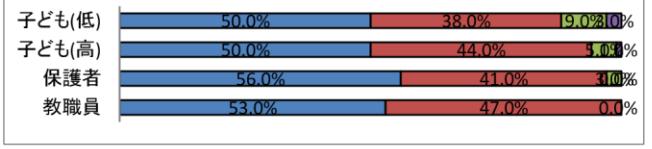
(10)自分の考えや思いを話す



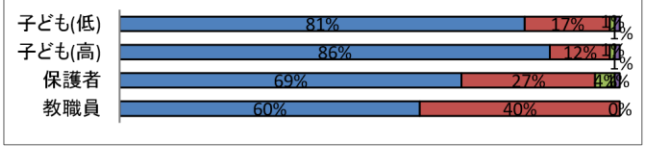
(11)すすんでからだを動かす



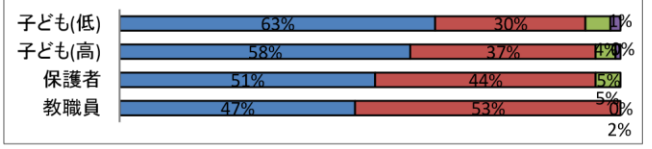
(12)相手の気持ちを考えて行動する



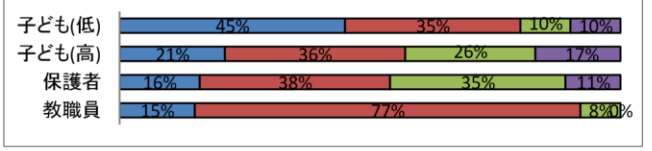
(13)自分や他の人の「命」を大切にする



(14)情報モラルやマナーを守る



(15)PTAや地域行事へ参加する



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。

※グラフの数字は、全体の割合の概数ですので，0と表記されていても、選択されている人が若干名いる可能性もあります。